

最新の歯科技工技術に関する講習会Ⅰ

研修 都技

[講師及び演題]

講師 菅原 克彦 先生 …………… 3Dテクノロジーが実現させる
次世代のラボの形

[定員]

80名

[受講費]

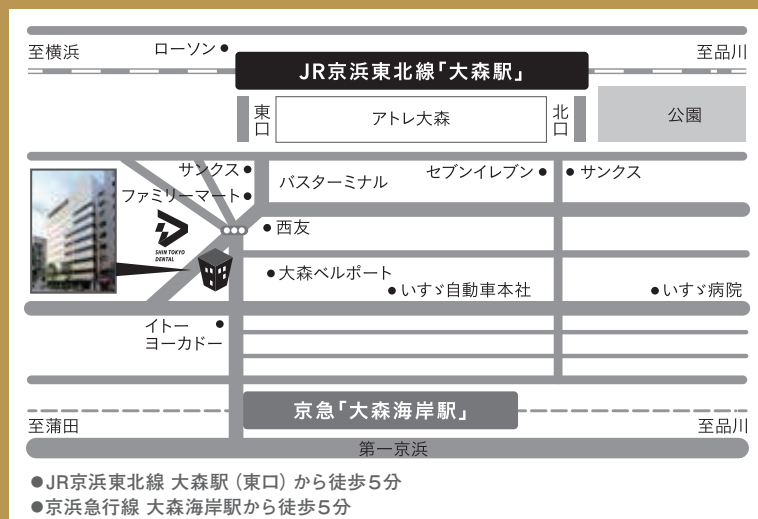
無 料

[受付申込方法]

当日受付（申込不要）
※席に限りがありますので、お早めにお越し下さい。

[会場]

新東京歯科技工士学校 6階
東京都大田区大森北1-18-2



[お問い合わせ]

一般社団法人 東京都歯科技工士会

〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F
FAX : 03-3576-5615

都技生涯研修

令和元年度

最新の 歯科技工技術に 関する講習会Ⅰ



Tokyo master course Science Lecture

[開催日時]
令和元年 8月25日 日
受付 12:30
開始 13:00 → 終了 17:00

[会場]
新東京歯科技工学校
6階

[講師]

菅原 克彦 先生

有限会社ケイエスデンタル 代表取締役社長

演題 3Dテクノロジーが実現させる

次世代のラボの形

～3DプリンタおよびCAD/CAMを活用して

経営改善・品質向上をはかり、患者重視のラボへ～

一般社団法人 東京都歯科技工士会

経営改善・品質向上をはかり、患者重視のラボへ
3Dテクノロジーが実現させる次世代のラボの形

歯科技工業界の深刻な人手不足が加速するなか、国の指針である働き方改革が施行されることでデジタル化が進む歯科技工士の労働環境は、今後さらなる変化が推測されます。

弊社ではこれらの外的要因に対応するため生産性向上・収益改善を目的として、CAD/CAMシステム導入から3Dプリンタへの設備投資を行い、以下の2つの取り組みを行なっています。

①全スタッフの労働時間の短縮など、全業務タスク問題解決への取り組み

②3Dテクノロジーを活用した患者の治療時におけるストレス軽減化への取り組み
この2点に取り組んだ現状と、将来への展望、そして3Dテクノロジーの臨床応用の可能性について報告させていただきます。

弊社では5年前より、歯科用CAD/CAMシステム導入を開始し、各種補綴装置製作を行っており、3Dプリンタは昨年に導入、モデル製作を中心に使用しています。そしてミリングマシンによる切削加工（サブトラクティブ）と3Dプリンタによる積層造形（アディティブ）によるハイブリッド方式を用いて補綴装置製作を行っています。

3Dプリンタを使用していくなか、造形方式や材料の物性、3Dプリンタとミリングマシンの長所・短所を知ることそれぞれの強みを最大限に活かす事が可能になりました。また、画一的なテクニックでは対応できない複雑な形状は、精度検証することが必要と考えており、その検証結果についても紹介させていただきます。

その他以下3項目をご紹介します。

- ①3Dプリンタを使用しての、高精度で効率的かつ経済的な造形物の保険技工への対応
- ②透明なマウスピース型の「アライナー」を使った新しい歯列矯正システムクリアコレクトの紹介
- ③金属光造形複合加工（造形と切削加工の繰りかえしによる加工法）の紹介

■講師略歴

菅原 克彦

[すがわら かつひこ]



有限会社ケイエスデンタル代表取締役社長

1985年 東北歯科技工専門学校卒業
1993年 早稲田トレーニングセンター講師
1997年 (有)ケイエスデンタル開業(神奈川県横浜市)
東北歯科技工専門学校研修科非常勤講師
新横浜歯科技工専門学校非常勤講師
新東京歯科技工専門学校非常勤講師

MEMO